



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月2日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東大名札福  
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 健嗣  
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）水野 雄氏（TEL）03(3296)3008  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	802,168	4.9	63,768	0.4	62,136	4.3	38,214	34.3
23年3月期第2四半期	764,794	16.1	63,521	253.6	59,586	295.2	28,464	571.0

（注）包括利益 24年3月期第2四半期 40,765百万円（171.9%） 23年3月期第2四半期 14,993百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.33	-
23年3月期第2四半期	20.36	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,403,290	707,421	49.6	497.50
23年3月期	1,425,879	675,602	46.5	474.59

（参考）自己資本 24年3月期第2四半期 695,374百万円 23年3月期 663,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	5.00	-	6.00	11.00
24年3月期	-	7.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,684,000	5.4	124,000	0.9	125,500	6.2	74,500	23.6	53.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	1,402,616,332株	23年3月期	1,402,616,332株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,866,316株	23年3月期	4,420,688株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	1,398,020,612株	23年3月期2Q	1,398,361,882株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) セグメント別売上高及び営業利益 .....	12
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間) .....	13
(3) 主要項目の状況(連結) .....	13
(4) 住宅 請負事業の状況 .....	13
(5) その他の項目 .....	14
(6) 有利子負債残高(連結) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 業績全般

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月～9月、以下「当第2四半期」)における世界経済は、中国をはじめとする新興国の経済成長が堅調だったものの、米国経済の減速と欧州の財政危機による金融不安などにより、先進国の景気の先行きは不透明感が強まりました。また、日本経済は、東日本大震災で一時的に落ち込んだ生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、円高の進行や新興国の金融引き締めによる輸出環境の悪化懸念などもあり、先行き不安な状況にあります。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第2四半期における連結業績は、住宅事業が戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」などの引渡戸数が増加したことにより業績を伸ばしたことや、ケミカル事業が堅調に推移したことなどから、売上高は8,022億円で、前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)374億円(4.9%)の増収となり、営業利益は638億円で前年同期比2億円(0.4%)の増益となりました。また、経常利益は621億円で前年同期比26億円(4.3%)の増益となり、四半期純利益は382億円で前年同期比97億円(34.3%)の増益となりました。

## ② セグメント別概況

当社グループの6つの報告セグメント「ケミカル」「住宅」「医薬・医療」「繊維」「エレクトロニクス」「建材」及び「その他」に区分してご説明します。

## 「ケミカル」セグメント

売上高は3,778億円で、前年同期比128億円(3.5%)の増収となりましたが、営業利益は341億円で、前年同期比32億円(8.6%)の減益となりました。

石化・モノマー系事業では、期前半に好調だったアクリロニトリルなどのモノマーの取引条件が期後半に悪化しました。また、ポリマー系事業では、タイヤ向け合成ゴムなどが好調に推移したものの、エンジニアリング樹脂は国内自動車生産台数減少により販売量が減少し、原燃料価格高騰の影響も受けました。高付加価値系事業では、「サララップ<sup>TM</sup>」などの消費材やイオン交換膜などが堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・減益となりました。

## 「住宅」セグメント

売上高は2,000億円で、前年同期比264億円(15.2%)の増収となり、営業利益は179億円で、前年同期比78億円(77.3%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は1,894億円で、前年同期比77億円(4.2%)の増加となりました。

建築請負事業では、戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」や集合住宅「ヘーベルメゾン<sup>TM</sup>」の引渡戸数が増加しました。また、分譲事業では、分譲マンションの売上が増加したことや、住宅周辺事業も好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「医薬・医療」セグメント

売上高は600億円で、前年同期比22億円(3.8%)の増収となり、営業利益は56億円で、前年同期比14億円(34.1%)の増益となりました。

医薬事業では、MR(医薬情報担当者)の増強などにより販売管理費が増加したものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリン<sup>TM</sup>」などの販売量が大幅に増加しました。また、医療事業では、各製品が円高や販売価格の下落の影響を受けたものの、ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>TM</sup>」などの販売量が大幅に増加しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「繊維」セグメント

売上高は561億円で、前年同期比16億円(2.9%)の増収となりましたが、営業利益は21億円で、前年同期比2

億円(7.4%)の減益となりました。

ナイロン66繊維「レオナ<sup>TM</sup>」のタイヤコード用途や再生セルロース繊維「ベンベルグ<sup>TM</sup>」の裏地用途などの販売が好調に推移したものの、各製品で原燃料価格高騰や円高の影響を受け、セグメント全体では増収・減益となりました。

#### 「エレクトロニクス」セグメント

売上高は775億円で、前年同期比56億円(6.7%)の減収となり、営業利益は70億円で、前年同期比37億円(34.3%)の減益となりました。

電子部品系事業において、スマートフォン向けミクスドシグナルLSIなどの販売が好調に推移したものの、販売価格の下落や円高の影響を受けました。また、電子材料系事業においては、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア<sup>TM</sup>」の販売量が増加したものの、販売価格の下落や原燃料価格高騰の影響を受けました。以上により、セグメント全体では減収・減益となりました。

#### 「建材」セグメント

売上高は222億円で、前年同期比12億円(5.0%)の減収となり、営業利益は8億円で、前年同期比4億円(32.5%)の減益となりました。

構造資材事業が堅調に推移したものの、東日本大震災の影響により、茨城県のフェノールフォーム断熱材「ネオマ<sup>TM</sup>フォーム」と軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル<sup>TM</sup>」の工場が一時操業停止となったことや、各事業で建築工事の中断・遅延の影響を受けたことなどから、セグメント全体では減収・減益となりました。

#### 「その他」

エンジニアリング事業や人材派遣・紹介事業からなる「その他」は、売上高は85億円で、前年同期比11億円(14.7%)の増収となり、営業利益は12億円で、前年同期比4億円(52.6%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産が351億円増加したものの、現金及び預金が388億円、受取手形及び売掛金が160億円減少したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて226億円減少し、1兆4,033億円となりました。

有利子負債は、借入金を返済したことなどにより、前年度末に比べて595億円減少し、1,945億円となりました。

純資産は、配当金の支払84億円があったものの、四半期純利益を382億円計上したことなどから、前年度末に比べて318億円増加し、7,074億円となりました。この結果、自己資本比率は49.6%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加338億円、法人税等の支払額273億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益591億円、減価償却費378億円、売上債権の減少145億円などの収入があったことから、631億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出307億円、定期預金の預入による支出102億円などがあったことから、386億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少328億円、長期借入金の返済による支出193億円、配当金の支払額84億円などがあったことから、700億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物が、為替換算により3億円、連結の範囲の変更により15億円、関係会社の報告期間変更により5億円それぞれ増加しました。以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より431億円減少し、913億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高については、建築請負事業などが好調の「住宅」セグメントで増収となるものの、製品市況が下落している「ケミカル」セグメントなどが減収となることから、グループ全体としては、前回予想に対し、400億円減収の16,840億円となる見通しです。営業利益、経常利益及び当期純利益については、為替の影響を受ける「エレクトロニクス」セグメントなどが前回予想を下回る見込みですが、製品市況が下落するものの、第2四半期累計期間までの業績が堅調に推移した「ケミカル」セグメントや、請負事業が好調の「住宅」セグメントなどの業績が前回予想を上回ることから、グループ全体としては前回予想に対し、増益となる見通しです。

以上により、平成23年5月11日に公表した連結業績予想を修正しました。

(通期)

(単位：億円)

	前回予想(A) 平成23年5月11日公表	今回修正(B)	増減額 (B-A)	前連結会計年度 実績
売上高	17,240	16,840	△400	15,984
営業利益	1,200	1,240	40	1,229
経常利益	1,225	1,255	30	1,182
当期純利益	690	745	55	603

なお、配当金につきましては、予想利益の達成状況を勘案し、第2四半期末配当を1円増配の7円とし、1株あたりの年間配当金を14円とさせていただく予定です。

(注) これらの業績予想は

ナフサ価格¥50,000/k1、為替レート¥77/\$・¥105/€(第3、第4四半期連結会計期間平均)

ナフサ価格¥53,475/k1、為替レート¥78/\$・¥109/€(当連結会計年度平均)

を前提条件としています。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

## (2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	140,319	101,510
受取手形及び売掛金	273,414	257,447
有価証券	371	109
商品及び製品	129,898	136,351
仕掛品	76,551	96,476
原材料及び貯蔵品	49,799	58,524
繰延税金資産	23,131	25,624
その他	63,240	62,240
貸倒引当金	△1,072	△1,055
流動資産合計	755,651	737,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	409,263	412,067
減価償却累計額	△231,474	△233,801
建物及び構築物（純額）	177,789	178,266
機械装置及び運搬具	1,192,132	1,202,908
減価償却累計額	△1,047,912	△1,064,946
機械装置及び運搬具（純額）	144,220	137,962
土地	55,243	55,292
リース資産	8,581	9,508
減価償却累計額	△3,118	△3,896
リース資産（純額）	5,463	5,611
建設仮勘定	22,173	27,506
その他	118,718	121,128
減価償却累計額	△105,252	△107,115
その他（純額）	13,466	14,013
有形固定資産合計	418,354	418,651
無形固定資産		
のれん	5,087	4,659
その他	26,015	25,440
無形固定資産合計	31,101	30,099
投資その他の資産		
投資有価証券	166,317	166,493
長期貸付金	5,181	5,578
繰延税金資産	22,005	18,944
その他	27,507	26,522
貸倒引当金	△237	△225
投資その他の資産合計	220,773	217,313
固定資産合計	670,228	666,063
資産合計	1,425,879	1,403,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,407	142,003
短期借入金	108,889	64,531
コマーシャル・ペーパー	23,000	14,000
リース債務	1,522	1,741
未払法人税等	24,085	15,790
未払費用	97,745	91,158
前受金	52,346	60,621
修繕引当金	3,239	4,891
製品保証引当金	2,465	2,129
資産除去債務	512	528
その他	39,668	45,854
流動負債合計	489,878	443,245
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	91,722	85,275
リース債務	3,802	3,909
繰延税金負債	6,374	6,447
退職給付引当金	107,309	107,155
役員退職慰労引当金	1,119	707
修繕引当金	2,131	1,465
資産除去債務	3,316	3,328
長期預り保証金	18,340	18,081
その他	1,284	1,255
固定負債合計	260,399	252,624
負債合計	750,277	695,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,402	79,404
利益剰余金	478,681	508,745
自己株式	△2,115	△2,360
株主資本合計	659,357	689,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,647	30,934
繰延ヘッジ損益	△140	188
為替換算調整勘定	△25,299	△24,926
その他の包括利益累計額合計	4,209	6,196
少数株主持分	12,036	12,047
純資産合計	675,602	707,421
負債純資産合計	1,425,879	1,403,290

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	764,794	802,168
売上原価	563,276	595,899
売上総利益	201,518	206,269
販売費及び一般管理費	137,997	142,501
営業利益	63,521	63,768
営業外収益		
受取利息	524	692
受取配当金	1,193	1,474
持分法による投資利益	1,090	914
その他	1,742	1,734
営業外収益合計	4,549	4,815
営業外費用		
支払利息	1,738	1,442
為替差損	3,571	2,511
その他	3,175	2,494
営業外費用合計	8,484	6,447
経常利益	59,586	62,136
特別利益		
投資有価証券売却益	—	94
固定資産売却益	13	331
特別利益合計	13	425
特別損失		
投資有価証券評価損	406	485
固定資産処分損	2,273	1,356
減損損失	50	160
環境対策費	658	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,240	—
災害による損失	—	864
事業構造改善費用	8,601	636
特別損失合計	13,228	3,502
税金等調整前四半期純利益	46,371	59,059
法人税等	16,884	20,001
少数株主損益調整前四半期純利益	29,487	39,058
少数株主利益	1,022	844
四半期純利益	28,464	38,214

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,487	39,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,626	1,375
繰延ヘッジ損益	53	328
為替換算調整勘定	△4,896	455
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,024	△451
その他の包括利益合計	△14,494	1,707
四半期包括利益	14,993	40,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,258	40,202
少数株主に係る四半期包括利益	735	564

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	46,371	59,059
減価償却費	40,339	37,756
減損損失	50	160
のれん償却額	531	537
負ののれん償却額	△134	△116
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△4,636	986
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,055	△339
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△746	△183
受取利息及び受取配当金	△1,717	△2,166
支払利息	1,738	1,442
持分法による投資損益 (△は益)	△1,090	△914
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△94
投資有価証券評価損益 (△は益)	406	485
固定資産売却損益 (△は益)	△13	△331
固定資産処分損益 (△は益)	2,273	1,356
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,058	14,460
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,845	△33,839
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,954	5,254
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,891	△6,436
前受金の増減額 (△は減少)	16,073	8,290
その他	△15	3,570
小計	62,536	88,937
利息及び配当金の受取額	2,491	3,001
利息の支払額	△1,783	△1,534
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△13,923	△27,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,321	63,096
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,110	△10,224
定期預金の払戻による収入	—	6,488
有形固定資産の取得による支出	△32,894	△30,684
有形固定資産の売却による収入	522	307
無形固定資産の取得による支出	△2,146	△3,065
投資有価証券の取得による支出	△1,423	△538
投資有価証券の売却による収入	329	378
貸付けによる支出	△1,575	△3,481
貸付金の回収による収入	1,925	3,158
その他	△1,050	△928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,422	△38,588

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	911	△32,783
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	2,000	△9,000
長期借入れによる収入	251	1,371
長期借入金の返済による支出	△7,027	△19,260
リース債務の返済による支出	△629	△876
自己株式の取得による支出	△34	△265
自己株式の処分による収入	12	15
配当金の支払額	△6,992	△8,389
少数株主への配当金の支払額	△361	△626
その他	△6	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,875	△69,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,091	339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,067	△45,133
現金及び現金同等物の期首残高	93,125	134,450
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	876	1,528
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	469
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,934	91,314

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別売上高及び営業利益

## (a) 連結売上高

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額		H23/3期	H24/3期
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績		増減率 %	連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	3,650	3,778	128	3.5	7,422	7,670
住宅	1,735	2,000	264	15.2	4,092	4,530
医薬・医療	578	600	22	3.8	1,164	1,240
繊維	546	561	16	2.9	1,088	1,140
エレクトロニクス	832	775	△56	△6.7	1,583	1,580
建材	234	222	△12	△5.0	474	490
その他	74	85	11	14.7	160	190
合計	7,648	8,022	374	4.9	15,984	16,840

## (b) 連結営業利益

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額		H23/3期	H24/3期
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績		増減率 %	連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	373	341	△32	△8.6	644	580
住宅	101	179	78	77.3	365	470
医薬・医療	42	56	14	34.1	70	85
繊維	23	21	△2	△7.4	42	35
エレクトロニクス	107	70	△37	△34.3	143	120
建材	11	8	△4	△32.5	21	25
その他	8	12	4	52.6	17	25
小計	665	687	22	3.3	1,302	1,340
消去又は全社	△30	△50	△20	—	△72	△100
合計	635	638	2	0.4	1,229	1,240

## (2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差	コスト差等		計
			内 為替因		
ケミカル	2	173	△91	△207	△32
住宅	78	0	—	△0	78
医薬・医療	36	△14	△3	△7	14
繊維	2	△0	△11	△3	△2
エレクトロニクス	45	△109	△20	27	△37
建材	△4	△2	—	2	△4
その他	3	0	0	1	4
小計	162	48	△124	△188	22
消去又は全社	—	—	—	△20	△20
合計	162	48	△124	△207	2

## (3) 主要項目の状況(連結)

		H23/3期	H24/3期	H24/3期
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	連結会計 年度見通し
設備投資額(有形)	億円	301	341	870
設備投資額(無形)	億円	21	35	80
減価償却費	億円	409	383	810
金融収支 (内 受取配当金)	億円	△0 (12)	7 (15)	10 (24)
研究開発費	億円	307	320	660
四半期末人員	人	25,150	25,283	
D/Eレシオ		0.41	0.28	

## (4) 住宅 請負事業の状況

		H23/3期	H24/3期	増減		H24/3期
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	増減	増減率 %	連結会計 年度見通し
受注戸数	戸	7,927	8,236	309	3.9	16,065
受注高	億円	1,817	1,894	77	4.2	3,635
受注残高	億円	3,634	4,030	396	10.9	3,841
売上戸数	戸	5,009	5,916	907	18.1	14,685
売上高	億円	1,255	1,459	204	16.3	3,390

## (5) その他の項目

		H23/3期	H24/3期	増減	H24/3期
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績		連結会計 年度見直し
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	46,150	56,950	10,800	53,475
為替レート(相場平均)	¥/\$	89	80	△9	78
	¥/€	114	114	0	109

## (6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第2四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,089	645	△444
コマーシャル・ペーパー	230	140	△90
長期借入金	917	853	△64
社債	250	250	—
リース債務	53	57	3
合計	2,539	1,945	△595